

1 調査の概要

- (1) 調査目的
 ・本県における「なりわい」としての漁業の魅力について、漁業者の満足度を指標として定量化するとともに、満足度に影響を与える要因を分析し、就業環境の改善などの漁業担い手対策の参考とするもの。
- (2) 調査対象
 ①岩手県漁業士 83名(青年漁業士19名、指導漁業士64名)
 ②若手漁業者 72名(沿海地区24漁協に所属する着業10年未満の漁業者)
- (3) 調査方法
 設問票によるアンケート調査
- (4) 調査時期
 令和2年8～9月
- (5) 調査項目
 総合満足度及び個別満足度(30項目)
- (6) 有効回答数
 ①岩手県漁業士 46名(回収率55.4%)
 ②若手漁業者 47名(回収率65.3%)

算定式

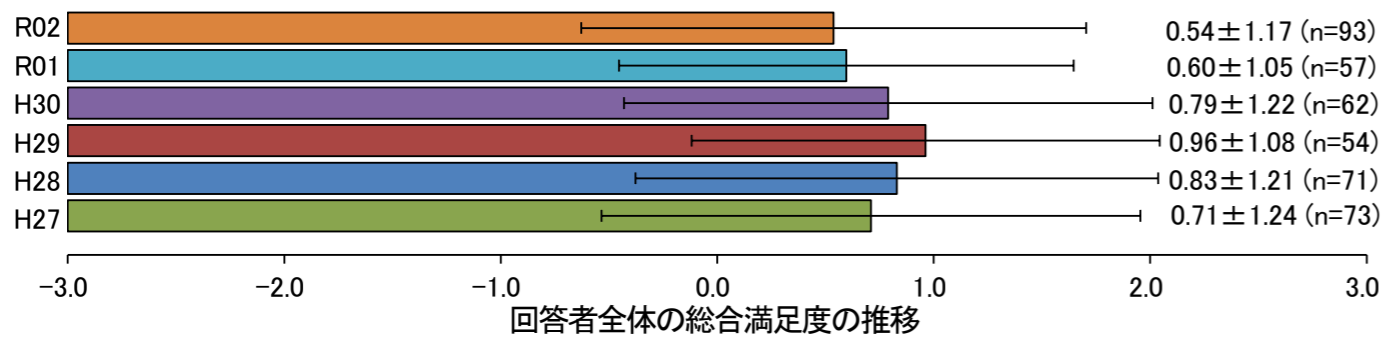
$$\text{総合満足度(平均点)} = \frac{(\text{'非常に満足'} \times 3) + (\text{'満足'} \times 2) + (\text{'やや満足'} \times 1) + (\text{'ふつう'} \times 0) + (\text{'やや不満'} \times (-1)) + (\text{'不満'} \times (-2)) + (\text{'非常に不満'} \times (-3))}{(\text{回答者数})}$$

※総合満足度は、-3.00点～3.00点の値で、高いほど満足度が高いことを表す。

2 総合満足度の分析

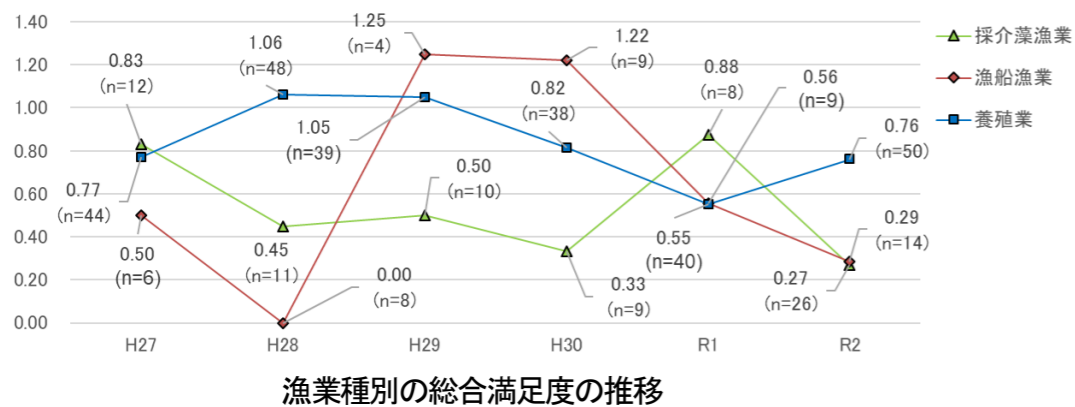
(1) 総合満足度の推移

・総合満足度の平均は0.54点となり、平成27年度の調査開始以来、最低値となりました。



(2) 漁業種別の総合満足度

・漁業種別の総合満足度では、「養殖業」で0.76点となり、前年度から上昇しました。
 ・一方で、「漁船漁業」は0.29点、「採介藻漁業」は0.27点となり、前年度から大きく減少しました。

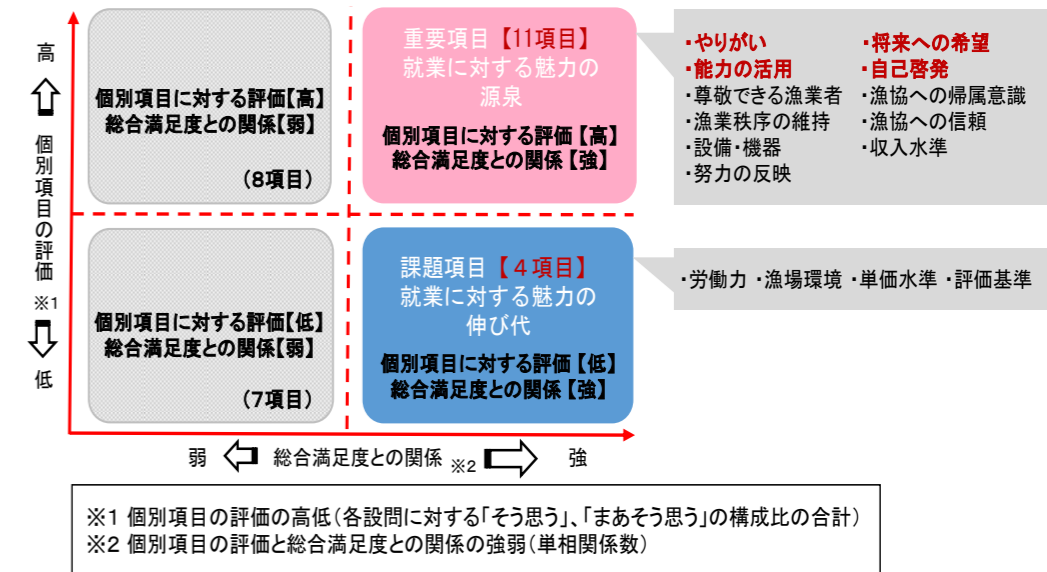


(3) 満足度の構造分析

・総合満足度と関係が強く、かつ個別満足度の高い項目を『重要項目』、総合満足度と関係が強いものの、個別満足度の低い項目を『課題項目』と定義し、分析しました。

『重要項目』… 就業に対する魅力の源泉
 ・「やりがい」、「将来への希望」、「能力の活用」、「自己啓発」、「尊敬できる漁業者」、「漁協への帰属意識」、「漁業秩序の維持」、「漁協への信頼」、「設備・機器」、「収入水準」及び「努力の反映」の11項目が分類されました。

『課題項目』… 就業に対する魅力の伸び代
 ・「労働力」、「漁場環境」、「単価水準」及び「評価基準」の4項目が分類されました。



総合満足度の要因

3 個別満足度の分析

(1) 養殖業

・要因区分の“他の漁業者との関係”、“地域住民や消費者との関係”、“漁協との関係”、“労働条件”を中心とした19項目で満足度が上昇していましたが、「漁場環境」、「単価水準」及び「収入水準」の3項目で満足度が低下しました。

(2) 漁船漁業

・要因区分の“他の漁業者との関係”、“労働条件”を中心とした12項目で満足度が上昇しましたが、「能力の活用」、「経営目標」及び「漁業秩序の維持」などの14項目で満足度が低下していました。

(3) 採介藻漁業

・「責任感」、「生産物への誇り」、「仕事量・労働時間」及び「評価基準」の4項目で満足度が上昇しましたが、「能力の活用」、「自己啓発」、「後継者」、「設備・機器」及び「漁場環境」などの14項目で満足度が低下していました。

要因区分	項目	漁業種								
		養殖業			漁船漁業			採介藻漁業		
		R1	R2	満足度	R1	R2	満足度	R1	R2	満足度
仕事	やりがい	1.58	1.52	→	1.78	1.64	↑	1.88	1.88	→
	将来への希望	2.18	2.10	→	2.44	2.36	→	2.25	2.46	↓
	責任感	1.75	1.62	↑	1.78	1.71	→	2.14	1.88	↓
	能力の活用	1.79	1.71	→	1.50	2.07	↓	1.50	2.04	↓
	生産物への誇り	1.65	1.50	↑	1.63	1.93	↓	1.75	1.46	↑
	継続意欲	1.60	1.46	↑	1.25	1.43	↓	1.63	1.62	→
自己の成長	成長期待	1.98	1.88	↑	1.67	1.71	→	2.00	2.12	↓
	自己啓発	2.25	2.18	→	2.00	2.21	↓	1.88	2.38	↓
経営目標	経営目標	2.33	2.12	↑	1.88	2.29	↓	2.63	2.64	→
	経営規模拡大	2.38	2.32	→	2.56	2.36	↑	2.75	2.77	→
	共同生産への興味	3.03	2.92	↑	2.67	2.50	↑	2.88	2.85	→
	後継者	2.82	2.86	→	2.63	3.00	↓	3.00	3.50	↓
他の漁業者との関係	尊敬できる漁業者	1.97	1.65	↑	2.33	1.64	↑	1.50	1.81	↓
	漁業者間の信頼	1.75	1.57	↑	2.44	1.71	↑	1.88	1.81	→
	漁業就業支援	3.03	2.72	↑	3.00	2.64	↑	2.63	2.73	↓
地域住民や消費者との関係	地域とのつながり	2.05	1.74	↑	2.11	2.00	↑	1.25	1.69	↓
	消費者とのつながり	2.78	2.64	↑	2.78	3.00	↓	2.50	2.81	↓
	漁協への帰属意識	2.35	2.16	↑	2.44	2.71	↓	1.75	2.04	↓
漁協との関係	漁業秩序の維持	2.08	1.74	↑	1.78	2.21	↓	1.25	1.73	↓
	漁業権行使	2.10	1.76	↑	2.67	2.00	↑	2.00	1.92	→
	漁協への信頼	1.98	1.74	↑	2.44	2.07	↑	1.75	1.77	→
労働条件	役割の発揮	2.55	2.35	↑	2.33	2.57	↓	1.75	2.12	↓
	仕事量・労働時間	2.53	2.24	↑	2.67	2.21	↑	2.13	1.88	↑
	労働力	2.77	2.54	↑	2.44	2.29	↑	2.38	2.38	→
	設備・機器	2.48	2.16	↑	2.33	2.50	↓	1.88	2.46	↓
	漁場環境	2.18	2.50	↓	2.67	2.43	↓	1.88	2.38	↓
収入	単価水準	2.23	2.46	↓	2.67	2.79	↓	2.00	2.08	→
	評価基準	2.48	2.52	→	2.67	2.86	↓	2.43	2.23	↑
	収入水準	2.20	2.30	↓	2.33	2.43	↓	2.29	2.23	→
	努力の反映	2.10	2.10	→	2.11	2.14	→	2.00	2.00	→

※満足度の評価
 「そう思う:1」「まあそう思う:2」「あまりそう思わない:3」「そう思わない:4」の4段階で回答を得ており、項目平均の数値が小さいほど満足度の高さを示す。前年比0.1ポイント以上の変動で満足度の「上昇」「低下」を判断。

個別満足度評価表(漁業種類別)

【まとめ】

- 総合満足度は調査開始以来の最低値となり、その要因として、近年の海洋環境の変化に伴う主要魚種等の不漁や新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う社会経済情勢の変化によって、いずれの漁業種類においても、漁業経営の厳しさが増している状況にあり、特に、漁船漁業と採介藻漁業は、これらの変化による影響をより強く受けていることが考えられます。
- 「なりわい」としての漁業の魅力の向上を図るためには、これまでの調査で重要項目とされた「やりがい」や「将来への希望」、「能力の活用」、「努力の反映」などを引き続き重視しながら、課題項目とされた「労働力」や「漁場環境」、「単価水準」、「評価基準」の視点からの改善の取組を戦略的に推進していく必要があります。
- 県では、「岩手県漁業担い手育成ビジョン(令和2～4年度)」に基づき、市町村や漁協、漁業関係団体と連携し、引き続き、次代を担う意欲ある新規漁業就業者の確保・育成と、地域漁業の核となる強い経営体の育成に取り組めます。